



弓達 秀樹 議員
(一括質問方式)

- ① 土砂災害対策
- ② 中心商店街の将来
- ③ 地域を支える元気高齢者を増やすこと
- ④ 放課後子ども総合プランに対する市の取り組み

問 JR四国との連携による観光振興について

答 観光伊予灘ものがたり大洲編は、予約状況も盛況のようだが、大洲駅における停車時間も短く、お土産の購入には至っていない。JR大洲駅からの観光ルートの設定についての進捗状況はどうなっているのか。

問 観光列車伊予灘ものがたり大洲編については、猛暑などの影響もあり、町なか散策までは至らない方も多いと聞いています。

割引クーポンつき散策マップについては、事業者の皆様には十分浸透しないまま発行に至り、深く反省をしているところです。今後においては事業者の皆様とともに

協議の場を設け、マップの更新作業や来年夏以降の協力店の募集に取りかかりたいと考えています。

また、JR大洲駅や肱南地区を含めた主要観光ルートに案内標識を設置するなど、まち歩きを楽しむ方への利便性を高める計画も進めています。

問 放課後子ども総合プランに対する今後の取り組みと施設整備等の対策について

答 今後、一体型を中心とした放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の計画的な整備等を進める考えはあるのか。それに伴う施設整備、指導員、先生の確保、待遇改善はどのように考えているのか。

問 国が示す方針では、放課後対策の総合的な推進を図ることとし、現在の放課後児童クラブと放課後子ども教室の拡充とあわせて、放課後児童クラブの利用者が放課後子ども教室で実施している体験学習等の利用ができるよう、一体的な連携、整備を推進することとされています。

市においても、国の新たな行動計画策定指針に基づき、その方向づけを行った上で、施設整備や指導員の確保、処遇についても検討していきたいと考えています。



宇都宮 宗康 議員
(一問一答方式)

- ① 命を最優先すること
- ② 子ども・子育て支援
- ③ 人事評価制度等
- ④ 頻発する豪雨災害

問 人事評価制度の実態と評価方法について

答 各評価者は過去の実績などにとらわれることなく、評価できているのか。

また、被評価者が評価者を評価できていなければ、職場の緊張、活性化が生まれないのではないかと。

問 人事評価の重要性や評価者の役割の徹底、あるいは事例研究による評価演習など、人事評価に関する研修を管理職員及び一般職員それぞれを対象に毎年実施しており、特に最近では、評価者の主観的判断や恣意性を排除する評価手法の確立に努めています。

また、被評価者が評価者を評価することについては、想定していないのが実情です。ただ、今年度において、人事評価制度と別の枠

組みにおいて多面評価の実施について検討しております。

問 デジタル防災行政無線の難聴箇所の改善について

答 デジタル防災行政無線の設置されている地域において聞こえのよくない箇所の改善は進んでいるのか。

問 防災行政無線の整備に際し、現地における各種の制約の中で最適と想定される場所を選定し、屋外スピーカー等を設置してきたところですが、これまでさまざまなお問い合わせがあり、その大半は、音が小さく聞こえにくいというものでした。

その問い合わせのあった86力所のうち、連絡がとれないなどの4力所を除き、82力所で現地確認を実施し、その結果、50力所で難聴対策が完了しています。残る32力所については、追加整備が必要となっており、追加工事方法等を確認し、作業を進めています。今後も、難聴地域の解消に努めていきます。

